

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	教育指導課長 杉並 伸也
教育-31 教育指導運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 教育指導課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針 教育内容・教育環境の充実

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の児童生徒等
意図	学校教育運営を円滑に図るため。
効果	円滑な学校教育運営の実施を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・いじめ防止等に向けて、学校、地域、関係機関及び団体等が連携した取組を円滑に進めることが出来るよう、いじめ問題対策連絡協議会及びいじめに関する調査委員会を開催した。 ・各種会議及び協議会に参加し専門的資質の向上を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	11,501人		11,526人		11,451人			
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	3,239	4,812		当初予算(千円)	5,164		
	国県支出金	0	0		国県支出金	0		
	地方債	0	0		地方債	0		
	その他	0	0		その他	0		
	一般財源	3,239	4,812		一般財源	5,164		
事業経費運営	人員配置数	1.8	1.8		人員配置数	1.7		
	人件費(千円)	13,880	14,016		人件費(千円)	13,281		
	総事業費(千円)	17,119	18,828		総事業費(千円)	18,445		
市民1人当りの経費(円)	96	106		市民1人当りの経費(円)	104			
対象者1人当りの経費(円)	1,488	1,634		対象者1人当りの経費(円)	1,611			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
	事業内容・予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	子ども鎌倉彫制作教室については予算規模の縮小を検討していたが、平成28年度は市長部局での実施となる。	

総評(評価に対する考え方、根拠等)	受益者負担を求める事業については、関連事業を実施している市長部局に移管することで、事業の拡大ができるものとする。また、いじめ防止に向けて、学校、地域、関係機関及び団体等が連携した取組を円滑に進めることができるような体制が、より効果的に運用できるよう、いじめに関する調査委員会を開催した。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	いじめ防止に向けて、学校、地域、関係機関及び団体等が連携した取組を円滑に進めることができるような体制が、より効果的に運用できるようにする必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度取組	平成26年度に作った、いじめ防止に向けて、学校、地域、関係機関及び団体等が連携した取組を円滑に進めることができるような体制を作り、情報交換に努めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	今後も、事業の円滑な運営のために予算の確保に努める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---